

「出願と受験」全般に関する注意事項

■試験前日まで

①持参する筆記用具等の準備

- ・受験票を必ず持参してください。
- ・マークシートへの記入は、HBの黒鉛筆に限ります(ボールペン、万年筆、サインペンなどは使用できません)。シャープペンシルは記述式解答用紙の記入およびメモ、計算に使用する場合に限り使用できます。
- ・消しゴムは、プラスチック製に限ります。
- ・下敷き、定規類、そろばん、計算機、ストップウォッチは使用できません。鉛筆削りは電動式、大型のもの、ナイフ類を除き、使用できます。
- ・時計については、携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル端末など計算機能、辞書機能、通信機能を有する機器を使用することはできません。
- ・ひざ掛け、ティッシュペーパー、ハンカチ、目薬、補聴器(FM式を除く)の使用を希望する場合は、監督者に申し出て、監督者の指示に従ってください。
- ・監督者の指示等が聞き取れないことがありますので、耳栓は使用できません。

■試験当日 インフルエンザ等感染症に関する注意事項については、8ページを参照してください。

①試験室への入室・着席

- ・試験開始20分前の説明開始時刻までに指定の試験室に入室してください。
- ・受験番号が机上に表示してありますので、番号を確認の上、着席してください。
- ・**各試験室において、毎試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。**
- ・受験票は机上に置いてください。万一忘れた場合は、係員に申し出てください。
- ・試験会場には食堂がありませんので、各自弁当などを持参してください。

②受験時・受験後

- ・毎時間、受験に関する説明を行います。試験開始前、指定の時刻までに試験室に入室し監督者の指示に従ってください。
- ・試験時間中の途中退室は認めません(体調不良の場合は監督者に申し出てください)。終了後の退室についても監督者の指示に従ってください。
- ・監督者の指示に従わないときは不正行為とみなし、全科目を無効とします。
- ・配付された試験問題は持ち帰ってください(公募推薦入試の小論文、エッセイ、国語力基礎テストを除く)。
- ・試験会場周辺での合否電報・電話等の受付は、本学とは全く関係がありません。これらによるトラブルには一切関与しませんので、充分注意してください。
- ・試験時間中の生活騒音(航空機・鉄道・自動車・風雨・工事・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、照明の点滅、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。

■不測の事態への対応について

自然災害など不測の事態に伴い、緊急対応措置を講ずる場合には、本学ホームページにて告知します。ただし、このことに伴う受験生の個人的損害について本学は責任を負いません。

URL <https://www.ryukoku.ac.jp>

マークシートについて

公募推薦入試と一般選抜入試は、マーク式の解答方法を採用する教科・科目が大半です。マークシート(解答用紙)に受験生がマークした部分を機械が直接読みとって採点します。下記の点に充分注意してください。

- ①マークは必ず**HB**の黒鉛筆を使用してください(シャープペンシル、ボールペンなどは使用できません)。
- ②マークの方法は、右に示す<正しい例>のように記入してください。
- ③いったんマークした箇所を訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してからマークしなおしてください。
- ④マークシートは折り曲げたり、破ったり、汚したりしないよう丁寧に取り扱いってください。

<正しい例>

解答番号	解答欄	(例)解答番号①に対して④と解答したい場合
1	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦	左図のように、だ円を完全にぬりつぶしてください。

<悪い例>

1	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	うすい
1	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	○印でかこむ
1	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	✓印をつける
1	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	線を引く
1	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦	ぬりつぶし方が不完全
1	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦	はみ出している
1	① ● ③ ● ⑤ ⑥ ⑦	左図のように×印をつけても消したことになりません。

新型コロナウイルス感染防止のための注意事項

■試験前日まで

- ・発熱・咳等の症状がある受験生はあらかじめ医療機関を受診すること。
- ・新型コロナウイルスに罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者や、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者は受験できません。
- ・試験の前から継続して発熱・咳等の症状のある受験生は、当初予定していた日程ではなく別日程の受験を検討すること。
- ・試験場への入場者数や集団の形成を極力抑制する観点から、受験以外の用務がある者の入場を最小限にするため、試験会場には控室は設置していません。
- ・昼食時の受験生同士の会話、交流、接触を最大限に抑制する観点から、試験当日、試験場内の食堂は開放しません。受験生は昼食を持参し、自席にて食事をとること。

■試験当日

- ・発熱・咳等の症状のある受験生で、試験当日の検温で37.5度以上の発熱がある場合は受験を取りやめ、別日程の受験を検討すること。
- ・試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があります。上着など温かい服装を持参すること。
- ・咳等の症状の有無にかかわらず、試験場内では、昼食時を除き、マスクを着用すること。また、休憩時間や昼食時等の他者との接触、会話は極力控えること。
- ・試験室への入退出時には、試験室入口に設置しているアルコール消毒薬で手指の消毒を行うこと。